

QA-600 Adhesive Part B

1. セクション 1: 物質/混合物の名称および企業の名称

1.1	製品識別名	
	製品名	QA-600 Adhesive Part B
	化学物質名	混合物。
	CAS 番号	混合物。
	EINECS 番号	混合物。
	REACH登録番号	割り当てられていない。
1.2	化学品の推奨用途と使用上の制限	
	記載されている用途	接着剤。
	~に対して助言された用途	知られていない。
1.3	供給者の詳細	
	会社情報	VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD Stroudley Road Basingstoke Hampshire RG24 8FW United Kingdom
	電話	+44 (0) 1256 462131
	F a x	+44 (0) 1256 471441
	Eメール(担当者)	mm.uk@vishaypg.com
1.4	緊急連絡用電話の番号	(00-1) 703-527-3887 CHEMTREC


2. セクション 2: 危険有害性の要約

2.1	物質または混合物の分類	
2.1.1	欧州CLP規則 (No.1272/2008)	引火性液体 区分2; 引火性の高い液体および蒸気。 皮膚感作性 区分1; 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。 眼刺激性物質 区分1; 重篤な眼の損傷。 呼吸器感作性 区分1; 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。 特定臓器毒性(単回暴露) 区分3; 特定標的臓器への毒性(単回暴露) 3(吸入)
2.1.2	指令67/548/EECおよび規則(1999/45/EC)	F; R11: 引火性が高い。 Xi; R37: 呼吸器系を刺激する。 Xi; R41: 目に重度の障害を与えるリスクがある。 R42/43: 吸入および皮膚接触により感作を引き起こす恐れがある。

改訂: 1.0 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishayppg.com

2.2	表示要素	欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば
	製品名	QA-600 Adhesive Part B
	危険性を表す絵文字	
	注意喚起語	危険
	危険有害性情報	<p>H225: 引火性の高い液体および蒸気。</p> <p>H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。</p> <p>H318: 重篤な眼の損傷。</p> <p>H334: 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。</p> <p>H335: 呼吸刺激を起こすおそれ。</p>
	危険有害性情報	<p>P210: 熱、火花、裸火、および高温のものから離して保管する。 - 禁煙</p> <p>P280: 保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。</p> <p>P304 + P341: 吸入した場合: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>P342 + P311: 呼吸に関する症状が出た場合: 中毒センターまたは医師に連絡すること。</p> <p>P305 + P351 + P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P310: 直ちに医師に連絡する。</p>
2.3	他の危険有害性	なし。

3. セクション 3: 組成/成分情報

3.1 物質 製剤/混合物中の物質

3.2 混合物

EC分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	危険有害性情報
Tetrahydrofuran	75 - 80	109-99-9	203-726-8	引火性液体 区分 2; H225 眼刺激性物質 区分 2; H319 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335
Trimellitic Anhydride	20 - 25	552-30-7	209-008-0	皮膚感作性 区分 1; H317 眼刺激性物質 区分 1; H318 呼吸器感作性 区分 1; H334 特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335

指令 67/548/EEC および規則(1999/45/EC)

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	EC 番号	EC 分類 と リスク警句
Tetrahydrofuran	75 - 80	109-99-9	203-726-8	F; R11: 引火性が高い。 R19: 爆発性過酸化物を生成することがある。 Xi; R36/37: 目及び呼吸器系を刺激する。
Trimellitic Anhydride	20 - 25	552-30-7	209-008-0	Xi; R37: 呼吸器系を刺激する。 Xi; R41: 目に重度の障害を与えるリスクがある。 R42/43: 吸入および皮膚接触により感作を引き起こす恐れがある。

4. セクション 4: 応急処置



4.1 応急処置の説明

吸入

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合：中毒センターまたは医師に連絡すること。

皮膚接触

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受ける。

目の接触

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡する。

摂取

飲み込んだ場合は、水で口をすすがせる。(但し、意識がある場合のみ)。無理に吐かせない。(吸引性呼吸器有害性)。患者に多量の水を飲ませる。医師の治療を受ける。

4.2 最も重要な症状および作用 (急性および遅発性)

呼吸刺激を起こすおそれ。すでに感作された人はアレルギー反応を引き起こすことがある。頭痛、吐き気、嘔吐を起こすことがある。重大な目への刺激を引き起こす。

4.3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

無水トリメリット酸 (TMA) に対する急性喘息性反応は、他の原因による急性喘息と同様に処置してください。患者がチアノくまたは急性の呼吸困難を起こしている場合は、酸素補給および全身コルチコステロイドを検討してください。遅発性の全身性呼吸窮迫症候群 (TMA 風邪) に対する一次治療としては、全身コルチコステロイドのほか、必要に応じて解熱剤および気管支拡張薬が使われます。

5. セクション 5: 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

炭酸ガス、粉末または泡消火器、水噴霧で消火する。

不適切な消火剤

ウォータージェットを使用しない。

5.2 当該物質または混合物に起因する特別な危険性

火災の時分解されて、有毒な煙を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素、液体が下水道、地下室及びワークピットに入らないようにする; 蒸気は爆発性雰囲気を作り出すことがある。

5.3 消防士へのアドバイス

消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水への混入を避けること。

6. セクション 6: 漏出時の措置

6.1 人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な換気を確保する。吸入すると有害である。吸入により感作を引き起こすことがある。危険がなければ漏出を遮断する。着火源をとり除く。蒸気の吸入を避ける。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。

6.2 環境的予防措置

排水路、下水道または水路に入らないようにする。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。

6.3 封じ込めと清掃のための方法および資材

引火性漏洩物を回収するときには、無火花機器を使用すること。流出物を砂、土または適切な吸収剤に吸収させる。廃棄用の容器に移す。この素材と容器は、危険廃棄物として廃棄すること。

6.4 他のセクションの参照先

次の項を参照: 8, 13

7. セクション 7: 取扱いおよび保管上の注意

7.1 安全な取り扱いのための注意事項

適切な換気を確保する。蒸気を吸入してはならない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用する。皮膚、眼および衣服との接触を避けること。本製品を取り扱っているときに、飲食、喫煙を行なってはならない。

7.2 安全な貯蔵のための条件 (不適合条件を含む)

容器および受器を接地し固定する。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。高温、着火源および直射日光を避けること。

保管温度

常温の。

保管期間

普通の状態で安定。

混触危険物質

次のものから離して保管する。酸化剤類。

7.3 具体的最終用途

接着剤。

改訂: 1.0 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

8. セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1 管理指標

8.1.1 職業暴露限度

物質	CAS 番号	長期暴露限界(8 時間 TWA ppm)	長期暴露限界(8 時間 TWA mg/m3)	短時間暴露限界(ppm)	短時間暴露限界 (mg/m3)	参照:
Tetrahydrofuran	109-99-9	50				JSOH, Sk

参照: JSOH: Japan Society for Occupational Health; J Occup Health, 2010; 52: 308-324. Sk-皮膚から吸収されることがある。

8.1.2 生物学的限界値 確立されていない。

8.1.3 PNEC および DNEL

DNEL (Tetrahydrofuran)	口	吸入	経皮
産業 - 長期 - 全身作用	-	150 mg/m ³	25 mg/kg bw/day
産業 - 長期 - 局所作用	-	150 mg/m ³	-
産業 - 短期間 - 局所作用	-	300 mg/m ³	-
産業 - 短期間 - 全身作用	-	300 mg/m ³	-
消費者 - 長期 - 全身作用	15 mg/kg bw/day	62 mg/m ³	15 mg/kg bw/day
消費者 - 長期 - 局所作用	-	75 mg/m ³	-
消費者 - 短期間 - 全身作用	-	150 mg/m ³	-
消費者 - 短期間 - 局所作用	-	150 mg/m ³	-

PNEC	Tetrahydrofuran
水系	PNEC aqua (真水) 4.32 mg/L PNEC aqua (塩水) 0.432 mg/L PNEC aqua (intermittent releases) 21.6 mg/L PNEC STP 4.6 mg/L PNEC sediment (真水) 23.3 mg/kg sediment dw PNEC sediment (塩水) 2.33 mg/kg sediment dw PNEC oral 67 mg/kg food
土壌	PNEC soil 2.123 mg/kg soil dw

8.2 暴露管理

8.2.1 適切な工学的管理

適切な換気を確保する。職業暴露限度の規定に基づいて、空中濃度を管理しなければならない。

8.2.2 個人用保護具 (PPE) などの個人保護措置

必要な個人用保護具を使用する。再使用する前に汚染された衣類を洗濯する。皮膚および目との接触を避ける。

目/顔面の保護



液体のはねから目を完全に保護するためにゴーグルを装着します (EN166)。

皮膚の保護



不浸透性手袋を着用すること。推奨: ニトリルゴム。または ネオプレン。と化学防護服。手袋素材の浸透時間: 手袋メーカーの情報を参照。

呼吸器の保護



通常、呼吸用保護具は必要ない。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。A型フィルターの付いた適切なマスク(EN141またはEN405)が適すると思われる。

熱の危険性

該当なし。

8.2.3 環境暴露コントロール

環境に排出しないようにする。

9. セクション 9: 物理的および化学的性質

9.1 基本的な物理化学的特性についての情報

下記の情報はこの混合物の主成分の性質を考慮して作成された。

外観

ほとんど無色。液体。

におい

エーテルのような。におい

臭いの閾値

資料なし。

pH

確立されていない。

融点/凝固点

-108.44 °C (Tetrahydrofuran)

初留点と沸騰範囲

65°C (Tetrahydrofuran)

引火点

-14 °C (Tetrahydrofuran)

蒸発速度

8 (BuAc = 1) (Tetrahydrofuran)

燃焼性 (固体、ガス)

引火性液体 区分 2; 引火性の液体及び蒸気。

上限/下限可燃性または爆発限界

爆発限界下限値(%v/v): 2.0 爆発限界上限値(%v/v): 11.8

蒸気圧

129 (mmHg) @ (20°C)

蒸気密度

2.4 (航蟻 ir = 1)

相対密度

0.9 (H2O = 1) (混合物。)

溶解度

>50% (水) (混合物。)

分配係数: n-オクタノール/水

0.45 log Pow (25 °C)

自然発火温度

320 °C (Tetrahydrofuran)

分解温度

資料なし。

粘度

資料なし。

爆発性

資料なし。

酸化性

非酸化性。

9.2 その他の情報

VOC 77.8 % (混合物。)

10. セクション 10: 安定性および反応性

10.1	反応性	普通の状態安定。
10.2	化学的安定性	普通の状態安定。
10.3	危険な反応の可能性	引火性の高い液体および蒸気。蒸気は目に見えず、空気より重く、場合によっては地面に沿って拡散する。
10.4	避けるべき条件	高温、着火源および直射日光を避けること。
10.5	混触危険物質	強い。酸類。と酸化剤類。
10.6	危険有害性分解生成物	火災の時分解されて、有毒な刺激性の蒸気を発生することがある。一酸化炭素、二酸化炭素。

11. セクション 11: 有害性情報

11.1	毒性に関する情報 (製剤/混合物中の物質)	
	急性毒性	
	摂取	分類されていない。
	吸入	特定標的臓器への毒性 (単回暴露) 3; 呼吸刺激を起こすおそれ。(Tetrahydrofuran)
	皮膚接触	皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
	目の接触	重篤な眼の損傷。
	刺激性	分類されていない。
	腐食性	眼刺激性物質 区分 1; 重篤な眼の損傷。(Trimellitic Anhydride)
	感作性	皮膚感作性 区分 1; 皮膚接触により感作を引き起こすことがある。(Tetrahydrofuran) 呼吸器感作性 区分 1; 吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ。(Trimellitic Anhydride)
	反復投与毒性	分類されていない。
	発がん性	発がん性の証拠はない。
	変異原性	突然変異性を引き起こす潜在力があることを示す証拠はない。
	生殖毒性	データなし。
11.2	その他の情報	なし。

12. セクション 12: 環境影響情報

12.1	毒性	海洋汚染物質として分類されていない。
12.2	残留性および分解性	成分の一部が低生分解性である。
12.3	生物蓄積性	この製品は生物濃縮の可能性が低い。
12.4	土壌中の移動度	この製品は土壌中で移動性が高いと予想される。水 溶解。 / 高揮発性。
12.5	PBT および vPvB 評価の結果	PBT または vPvB に分類されない
12.6	その他の有害な作用	知られていない。

改訂: 1.0 日付: 20.05.2015

EC規則1907/2006 (REACH) 及び1272/2008 (CLP) & 453/2010 によれば

www.vishaypg.com

13. セクション 13: 廃棄上の注意

- 13.1 廃棄物処理法 この物質や容器は有害廃棄物として処理する。法律に従い、前処理後にしかるべき危険廃棄物焼却施設に送ること。
- 13.2 追加情報 内容物を国、都道府県、市町村の法規に従って廃棄する。

14. セクション 14: 輸送上の注意

- | | |
|--------------------------------------------------|--------------------------------------|
| | ADR/RID / IMDG / IATA |
| 14.1 国連番号 | UN 1133 |
| 14.2 適切な船積み名 | ADHESIVES containg flammable liquid. |
| 14.3 輸送危険分類 | 3 |
| 14.4 輸送危険分類 | II |
| 14.5 環境に対する危険 | 海洋汚染物質として分類されていない。 |
| 14.6 使用者に対する特別な注意事項 | 目、呼吸器系及び皮膚を刺激する。 |
| 14.7 MARPOL 73/78 Annex II および IBC コードに準拠したバルク輸送 | 該当なし。 |
| 14.8 追加情報 | なし。. |

15. セクション 15: 適用法令

- 15.1 特に当該物質または混合物に関する安全性、健康および環境についての規制/法律
- 15.1.1 EU規制
使用の承認および/または制限 なし。.
- 15.1.2 国の規制 知られていない。
- 15.2 化学物質安全性評価 資料なし。

16. セクション 16: その他の情報

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1-16.

参考文献: 既存の安全データシート(SDS) と 既存の ECHA 登録 Tetrahydrofuran (CAS# 109-99-9) と Trimellitic Anhydride (CAS# 552-30-7).

物質または混合物の分類 欧州CLP規則 (No.1272/2008) によれば	分類手順
引火性液体 区分 2; H226	テスト結果
皮膚感作性 区分 1; H317	閾値計算
眼刺激性物質 区分 1; H318	閾値計算
呼吸器感作性 区分 1; H334	閾値計算
特定臓器毒性(単回暴露) 区分 3; H335	閾値計算

注釈

LTEL	長期暴露限界
STEL	短時間暴露限界
DNEL	求められた無影響量
PNEC	推定無影響濃度
PBT	PBT: 難分解性、生物蓄積性、毒性
vPvB	vPvB: 高難分解性、高毒性
VOC	揮発性有機化合物の含有量

免責事項

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Vishay Precision Group は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き)。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

拡張安全性データシート(eSDS) の付録

利用可能な情報なし。